

総合的な学習の時間の計画

1 育てたい力と評価規準

① 育てたい力

- 対象とかかわる中で課題を見つけ、解決への見通しをもつ力。（見つける力）
- 課題解決に向け、情報を集めたり、分析したり、記録したりする力。（調べる力）
- 追究したことを自分の思いを込め分かりやすく伝える力。（表現する力）
- 学び方や生き方について考え、実践していく力。（実践する力）

② 評価規準

育てたい力	中 学 年（35時間）	高 学 年（70時間）
見つける力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調べてみたいこと、やってみたいことを見つけ、課題を決めることができる。 ・課題を解決するための大まかな見通しをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・追究する価値のある事柄を選び、課題を見つけてることができる。 ・課題を解決するための手立てを明確にし、計画を立てることができる。
調べる力	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる方法を選び、必要な情報を収集し記録することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法で情報収集し、その中から必要なものを選択し、記録することができる。
表現する力	<ul style="list-style-type: none"> ・追究したことを写真や図などの資料を使い、自分の意見も交え、相手に分かりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて発表方法を工夫し、自分の考えを明確にして、追究した内容を相手に分かりやすく伝えることができる。
実践する力	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して学んだことを学校や家庭で進んで実践したり、自分の生活に生かそうとしたりすることができる。 ・かかわった人のよいところに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して学んだことを地域で積極的に実践したり、自分の生活や考え方に生かそうとしたりすることができる。 ・かかわった人の生き方や考え方のよさに気付くことができる。

2 内容

- ① 児童の興味・関心、発達段階を十分に生かした内容とする。
- ② 本校の教育環境を生かし、「愛宕学区」（ふるさと）を見つめることを学習の基盤とする。
- ③ 生活科での学習経験を考慮する。
- ④ 「見つける→調べる→表現する→実践する」の4つの学習段階を展開する。
- ⑤ 取り上げる内容の例
 3年生…栽培・食文化 4年生…福祉・防災 5年生…生き物・農業
 6年生…環境・国際理解

3 進め方

① 学習計画

- ・児童の興味・関心に基づき、年間を通して計画を立てる。
- ・5月上旬までに単元を決定し報告をする。 ・2学期末までに実践をする。

② 学習環境

- ・図書室、パソコン室などを活用する。
- ・「町の先生」などの外部講師を積極的にゲストティーチャーとして招く。
- ・学習の足跡がわかるような掲示を工夫したり、使った資料等をファイルしたりする。

③ 評価

- ・自己評価…評価カード、学習カードの利用により、自己評価の時間を確保する。
 学習ファイルなどを準備し、学習の足跡が残るようにしておく。
- ・教師の評価…それぞれの段階で身につけたい力を明確にしておき、評価する。
- ・通知表・要録の「総合的な学習の時間の記録」欄に、文章で記録する。